

育児休業手当金の支給期間延長(1歳以上)に係る手続きの注意点について



育児休業手当金（1歳以上）は、職場復帰を希望しているが、保育所に入れないなど特別の事情に該当するときは2歳まで育児休業手当金の支給期間を延長することができます。支給期間延長には、引き続いて「待機児童」であることが要件になっています。また、やむを得ない理由なく保育の利用を辞退した場合は対象になりません。

引き続いて「待機児童」であることが大切な要件ですね。市町村によっては、新年度（4月）以降の入所について、年度ごとに申し込みをしないといけないのですが、旧年度に行った申し込みが有効であると勘違いをして、新年度以降の申し込みを失念した結果、要件を満たさず、育児休業手当金が支給されないケースが散見されています。ご注意ください。



●育児休業手当金の支給延長がされなかったケース●

- ① R6年2月10日子出生
- ② R7年2月10日で子が1歳なので、同年2月1日保育所入所希望で市役所に申し込んだ。
- ③ R7年1月中旬に、同年2月1日～の保育所入所が保留になった旨通知があった。
- ④ 保留通知を受け取ったので、育児休業手当金の支給期間延長を申請。
- ⑤ 入所を申し込んだ市町村では、入所申し込みの有効期限が毎年3月末であり、4月1日以降も申し込みを継続したい場合は、改めて手続きをしないといけなかったが、組合員は一度申し込めば年度が替わっても有効と勘違いしていたため、4月からの入所について申し込みをしていなかった。
- ⑥ R7年8月10日で1歳6ヶ月なので、市役所に保留通知の証明を依頼したが入所申し込みされていないため、証明書が発行されなかった。
- ⑦ 結果、待機児童であることの証明ができるのは、R7年3月31日までだったため、4月以降の育児休業手当金の支給延長はできず、返納となった。



育児休業手当金の返還等の事例も生じていますので、対象になるかご不明な点があれば事前にお問い合わせください。

◆◆地方職員共済組合兵庫県支部